

報告第1号 天羽地区地域包括支援センター 説明原稿

天羽地区地域包括支援センターの令和6年度収支予算及び事業計画についてご説明します。

まず、20ページをご覧ください。

介護予防事業については、収入支出ともに428万8,000円です。
地域支援事業については、収入支出ともに3,071万2,000円です。

ここ数年予防給付を受ける事業所が減少しております。高齢者が適切な介護保険サービスを受けるためにはケアマネジャーの存在が必須です。しかしながら、要支援対象者に対するケアマネジメントは天羽地区のケアマネジャーが減少している状況も含め諸所の事情から受け入れてもらえないという実情があります。

こういった事態にあっても適切なケアプランに基づいたサービスが提供できるよう、適切に予算を活用し、地域包括支援センターとして必要な人員を確保できるよう予算を立てております。

続いて、事業計画書についてご説明いたします。

天羽包括は本年度も、昨年度までの事業内容をより深め、進化させてい

くことに努めていきたいと考えております。

まず、21ページの一般介護予防活動支援事業についてご説明します。

地域介護予防活動支援事業では、高橋市長のご発声により開始された富津市いきいき百歳体操につきまして、令和5年度、前年度からさらに4団体が創設され19団体、約300人の登録となりました。

ご高齢者が住み慣れた街で安心して住み続けるために筋力維持を目的として開始されたわけですが過疎高齢化地域の新たなコミュニティーとしての大変意義のある活動です。

団体創設当初から地域包括支援センターの看護師が介入し、自主化が為されたのちも季節ごとに熱中症予防、感染症予防などの講話を参加者に対して実施するなど継続して関わりを持つことで参加者の心身に変化が生じた際に速やかに地域包括支援センターにつながるネットワークも構築されています。

今後は、既に参加している方が長く継続できるよう、また本来百歳体操への参加が必要な方が残らず参加できるよう「もっと元気に！もっと百歳体操！」という掛け声のもと看護師を中心に力を入れて参ります。百歳体操に参加する住民がひとりでも多く増えることが地域のご高齢者の心身の健康の維持につながると強く信じているからです。

地域と行政をつなぐ上で最も重要な地域ケア推進会議については『天羽地区で今何が起きているのか！？』とのテーマをもとに住民と共に考えていく場としていきたいと考えております。

また、人口が半減する 2040 年までの人口動態などをもとに『未来の天羽地区のために何ができるのか』とのテーマについても考えていく予定です。

続いて、総合相談支援業務についてご説明します。

日常的な活動を通じて、地域の医療機関、地域住民、福祉事業所や富津警察署を始めとした関係機関と情報を共有することで幅広い視野をもち支援を必要とする対象者への迅速かつ適切な支援ができるよう、活動を深めて参ります。

権利擁護業務について、「見守りウォーキング・わんわんパトロール」を地域に浸透させ、高齢者虐待や認知症徘徊の早期把握、早期対応のための土壌を、生活支援コーディネーターと共に進めてまいります。

また、消費詐欺被害防止に向け継続して富津警察署と協同し、医療機関、福祉事業所、一般企業に FAX による情報提供や地域にポスター掲示することなどから地域全体で高齢者を守っていくという認識を全世代に向

けて発信していきます。地域住民とともに地域課題を解決していくためにまずは地域の実情を深く理解していただくことが必要です。

前述の地域ケア推進会議や出前講座、認知症サポーター養成講座等を通じて地域課題の周知を進め解決への糸口をつかんでまいります。

24ページの生活支援体制整備事業についてご説明します。

住民主体型支援団体が天羽地区の各地に創設されるよう行政、生活支援コーディネーターと協同し買い物、通院難民や孤独死、自死、高齢者虐待が1件でも少なく、ゼロとなるよう活動して行きたいと考えております。

次に、25ページの任意事業について、認知症サポーター養成講座につきましては昨年度までと同様に『オレンジリングでつなぐ天羽の輪』をキャッチフレーズに各世代に広く認知症についての理解を深めるよう活動していきます。オレンジリングは一つ110円と有償となりましたが天羽包括にて購入し、受講者に配布することで地域の結束力を高めていきます。また講座終了後は回覧板にて実施報告を地域にアピールして参ります。

高齢者が住み慣れた街で安心して住み続けるために必要な環境を整えるためにはまだまだ多くの課題があります。天羽包括は、課題解決のため地域の医療機関や福祉事業所、区長、民生委員の皆様や関係機関と協働するとともに地域の全世代から必要とされるよう高齢者の課題にとどまらず多岐にわたる地域課題に立ち向かっていきたいと考えていますので今後とも何卒よろしくお願いいたします。